

注意		この表示を無視して誤った取り扱いをすると 傷害を負う可能性または致命的損害が発生する可能性が想定される内容です。	
	点灯中や消灯直後は器具が高温のため触らないでください。→やけどの原因になります。		周囲温度5~35℃、湿度45~85%の環境以外では使用しないでください。→火災・感電の原因になります。
	この器具は非防水です。湿気が多い場所や屋外では使用できません。→火災・感電の原因になります。		表示された電源電圧(AC100V)以外の電源で使用しないでください。→火災・感電の原因になります。
	ガス機器など、温度が高くなるものの上への取付けや、器具の下にストーブなどの高温のものを置かないでください。また、燃えやすいものを近づけて使用しないでください。→火災の原因になります。		照明器具の耐用年数は、使用条件、使用環境で異なりますが、一般的な使用状態で8~10年が目安です。数年に1回は、専門家(工事店・電器店)による点検を実施していただき、不具合がありましたら適切な処置を施してください。→故障すると、火災・感電・故障の原因になります。
	平らな天井に器具を取付けてください。天井に反りやたわみがある場合、器具と天井(連結施工時には器具間)に隙間が発生するおそれがあります。		照明器具の耐用年数を越えた長期使用や異物混入のまま使用しないでください。照明器具の耐用年数を越えた長期使用により、合成樹脂材料の変色・黒化に至る場合があります。黒化は、経年劣化(周囲温度、湿度、紫外線、ほこりや虫などの付着部への光の集中等)による変色・黒化です。燃焼現象ではありません。
	使用条件と異なる環境で使用すると、合成樹脂材料の変色が促進される場合があります。		

■定格

型番	定格電圧	入力電流	消費電力	使用ランプ	器具長さ
AD54719・AD54723・AD54727 AD54735・AD54739・AD54743 AD54751・AD54755・AD54759 AD54767・AD54771・AD54775	AC100V	0.28A	26.3W	LED	1500タイプ
AD54720・AD54724・AD54728 AD54736・AD54740・AD54744 AD54752・AD54756・AD54760 AD54768・AD54772・AD54776		0.23A	21.5W		1200タイプ
AD54721・AD54725・AD54729 AD54737・AD54741・AD54745 AD54753・AD54757・AD54761 AD54769・AD54773・AD54777		0.18A	16.8W		900タイプ
AD54722・AD54726・AD54730 AD54738・AD54742・AD54746 AD54754・AD54758・AD54762 AD54770・AD54774・AD54778		0.13A	11.9W		600タイプ

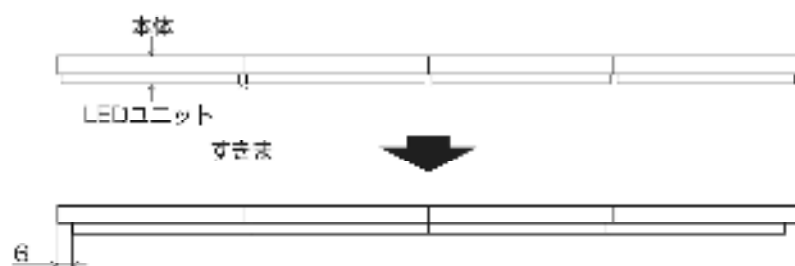
■連結について

- 連結の際はLEDユニット間にすきまができるため、LEDユニットを連結した本体の中央合わせにしてください。
- 連結台数が増えると両端のすきまが大きくなります。
- 器具連結可能台数は、7台です。

※N=連結台数

灯具を中央合わせした際の片側のすきま
片側のすきま = 1.5N(mm)

例<連結台数=4台>
片側のすきま = 1.5 × 4台 = 6(mm)



■施工前の確認

1 器具重量に耐えられるよう、取付部の強度を確保する

やわらかい天井に取付ける場合は取付金具と天井の間に補強材を入れる。

△警告 石膏ボード単体での取付けはできません。石膏ボードに取付ける場合は補強材を入れてください。器具の落下によるけがの原因になります。

△注意 平らな天井に器具を取付けてください。天井に反りやたわみがある場合、器具と天井(連結施工時には器具間)に隙間が発生するおそれがあります。

2 天井に埋込穴をあける

<単体>

器具長さ	埋込穴寸法(A×B)
1500タイプ	40 $\frac{+0}{-0}$ × 1516 ± 2mm
1200タイプ	40 $\frac{+0}{-0}$ × 1216 ± 2mm
900タイプ	40 $\frac{+0}{-0}$ × 916 ± 2mm
600タイプ	40 $\frac{+0}{-0}$ × 616 ± 2mm

<連結>

※600タイプは端取付専用のため2台を超える連結取付けはできません。

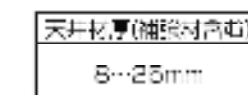
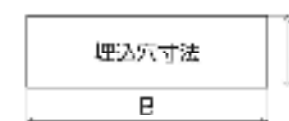
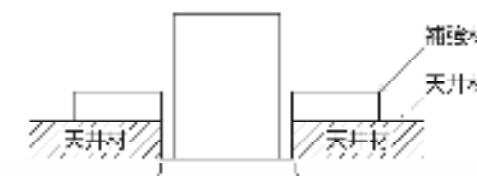
器具長さ	埋込穴寸法(A×B)
1500タイプ	40 $\frac{+0}{-0}$ × (1505 × N + B) ± 2mm
1200タイプ	40 $\frac{+0}{-0}$ × (1205 × N + B) ± 2mm
900タイプ	40 $\frac{+0}{-0}$ × (905 × N + B) ± 2mm
600タイプ	40 $\frac{+0}{-0}$ × (605 × N + B) ± 2mm

※N=連結台数

※上表B寸法は、各器具長さタイプだけを連結する場合の計算式です。

3 器具の取付けは2人で作業する (1500タイプのみ)

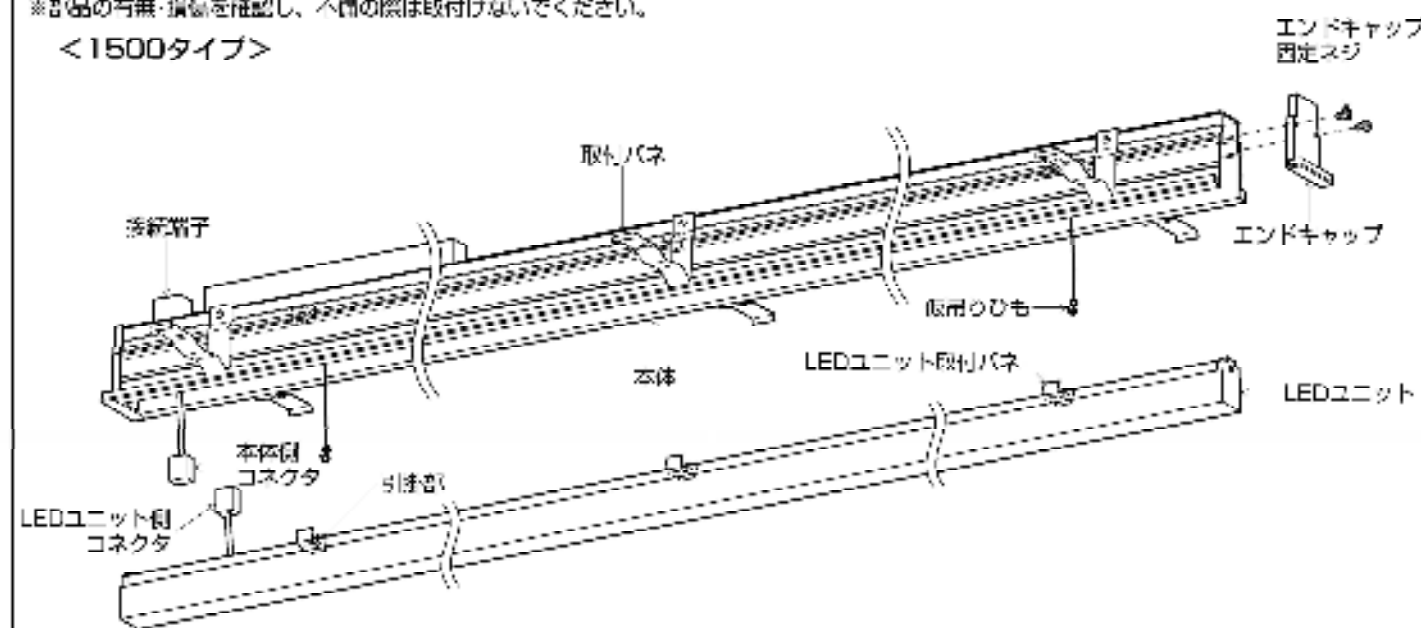
器具の落下によるけがの原因になります。



■施工手順 △注意 取付けの際は必ず電源を切ってください。感電の原因になります。

*この図は一部抽象化した六角部を区です。
*部品の有無・損傷を確認し、不備の際は取付けないでください。

<1500タイプ>



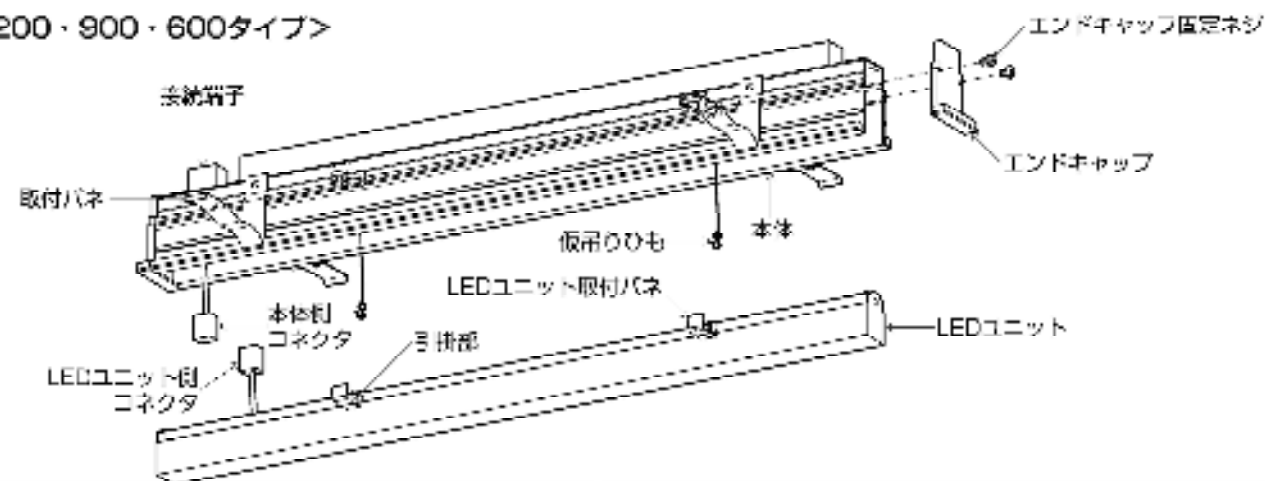
<付属部品>

- 連結金具・・・1個
- 気密シール・・・2枚
- 連結金具固定ネジ・・・2本

<別売部品>

- AE92398
- メンテナンス工具

<1200・900・600タイプ>



<付属部品>

- 連結金具・・・1個
- 気密シール・・・2枚
- 連結金具固定ネジ・・・2本

<別売部品>

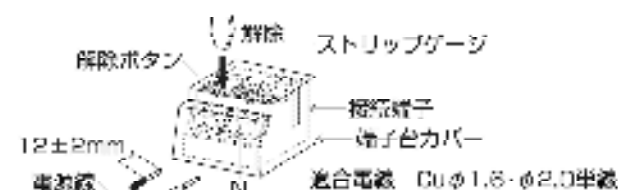
- AE92398
- メンテナンス工具

■施工手順(単体取付の場合) △注意 取付けの際は必ず電源を切ってください。感電の原因になります。

1 電源線を接続する

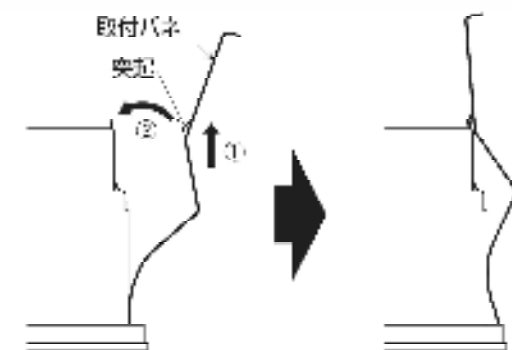
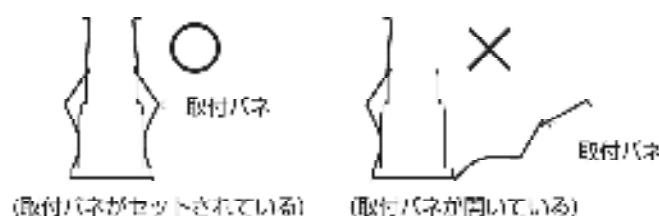
右図のように電源線の被覆をむき、端子台カバーの上から電源線を接続端子に確実に差し込む。また、送り配線は専用器具とする。(送り容量6A)は必ず時に解除ボタンを押しながら電源線をむく。

△警告 電源の接続を確実に行ってください。端子台カバーを外さずに電源線を接続してください。接続が不完全な場合や電源線が器具に接触した場合、発火・感電の原因になります。



2 取付バネをセットする

取付バネをセットする。

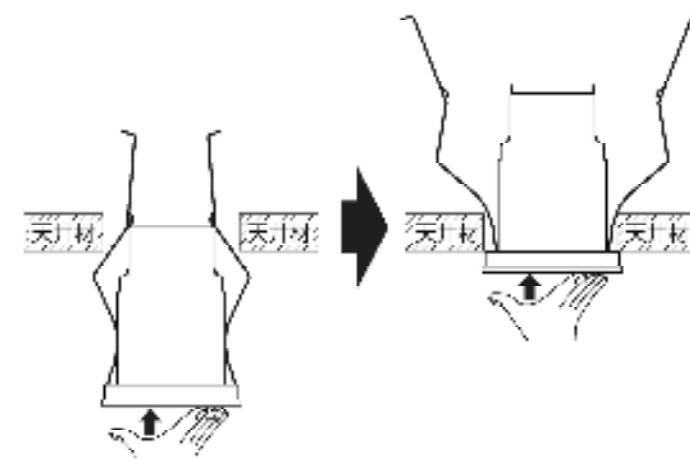


3 本体を取付ける

本体を天井穴に入れ、水平に押し上げる。

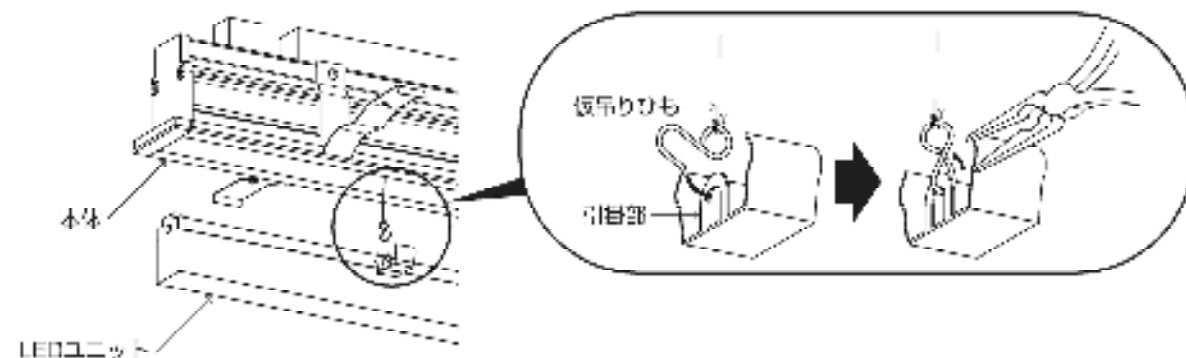
※押し上げることで取付バネが開き、本体は固定されます。

△警告 本体が確実に取付いたことを確認してください。取付けが不完全な場合、落下によるけがの原因になります。



4 LEDユニットを仮吊りする

本体の仮吊りひもをLEDユニットの引掛部に引っ掛け、工具などでかきめる。

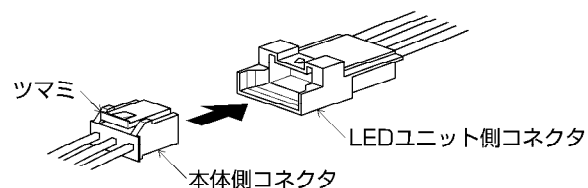


5 コネクタを接続する

本体側コネクタをLEDユニット側コネクタに確実に差し込む。

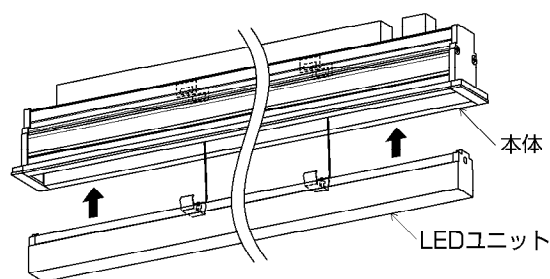
はずす時はツマミを押しながら抜く。

△警告 電源の接続を確実に行ってください。接続が不完全な場合は火災の原因になります。



6 LEDユニットを取付ける

ユニットを本体に押し付ける。



7 点灯の確認を行なう

■施工手順(連結取付の場合) △注意 取付けの際は必ず電源を切ってください。感電の原因になります。

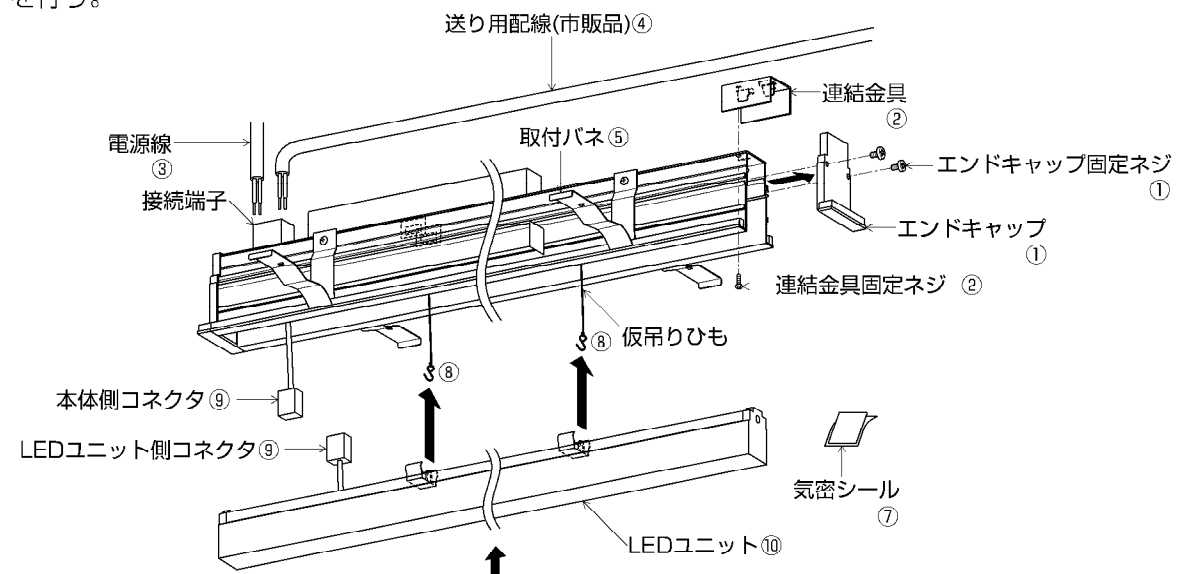
△注意 本体は必ず一台ずつ天井に取付けてください。本体を複数連結した状態で施工すると器具の破損や落下によるけがの原因になります。

始端用 中間用 中間用 終端用

<始端用>

■取付手順①→②→③→④→⑤→(⑦→⑧→⑨→⑩)

- エンドキャップは連結側だけ取外す。
- 連結金具を取付けてから、電源接続・送り配線・本体取付けをする。
- 終端用本体連結後、LEDユニット取付(⑦→⑧→⑨→⑩)を行う。

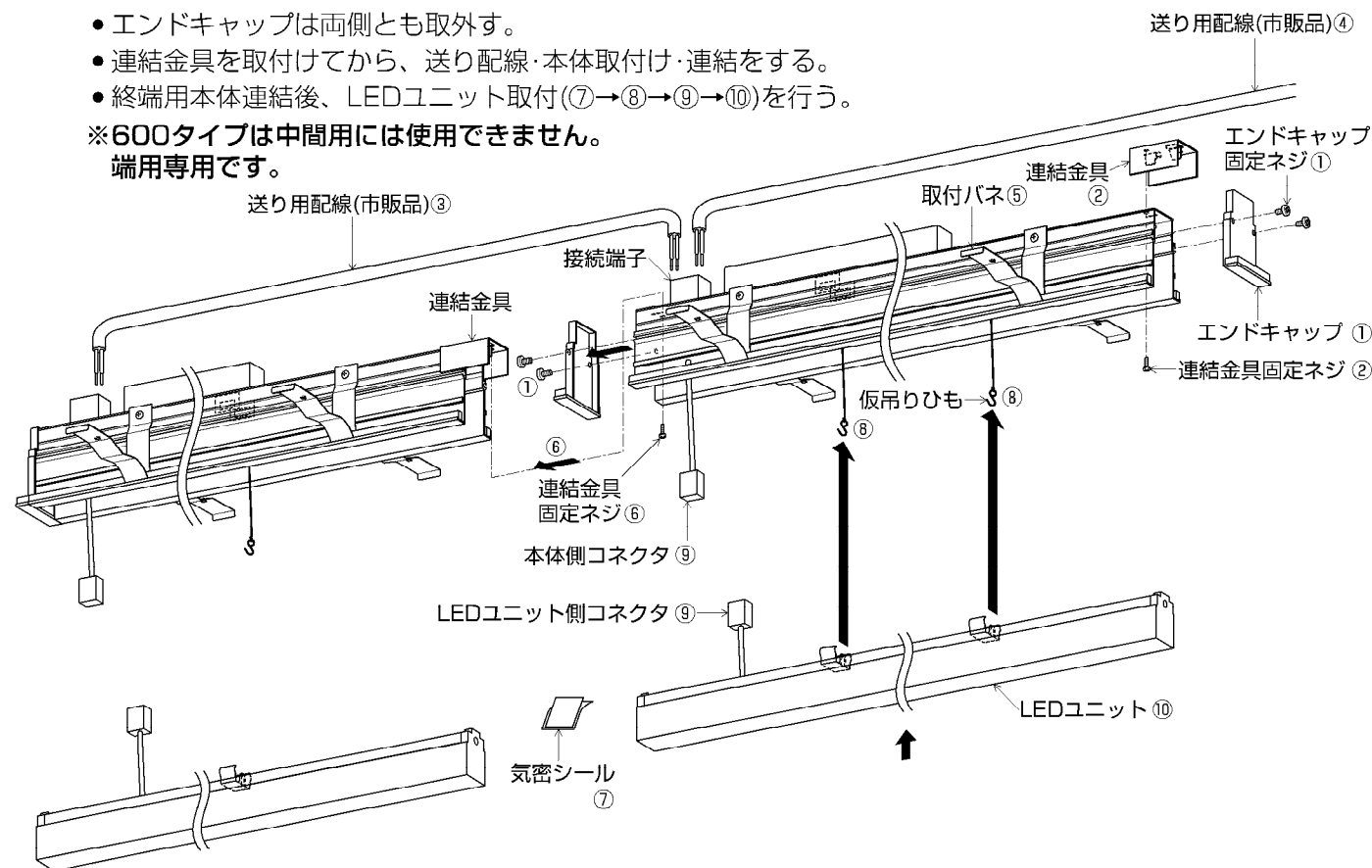


<中間用>

■取付手順①→②→③→④→⑤→⑥→(⑦→⑧→⑨→⑩)→3台目以降も同様に繰り返す

- エンドキャップは両側とも取外す。
- 連結金具を取付けてから、送り配線・本体取付け・連結をする。
- 終端用本体連結後、LEDユニット取付(⑦→⑧→⑨→⑩)を行う。

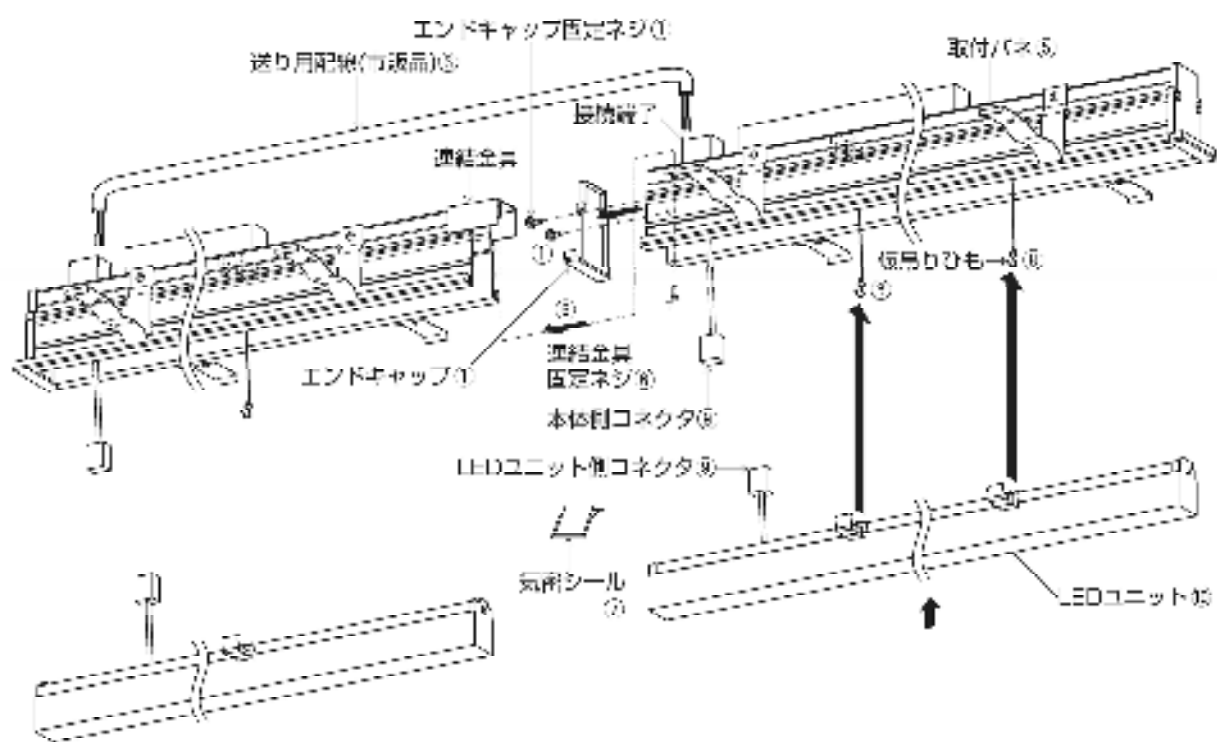
※600タイプは中間用には使用できません。端用専用です。



<終端用>

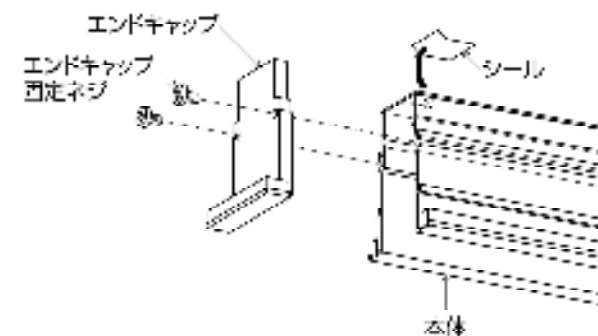
■取付手順①・②・⑤・③・⑦・⑧・⑨・⑩

- エンドキャップは沖結側だけ取外す。
- 終端用本体連結後、LEDユニット取付(⑦→⑧→⑨→⑩)を行う。

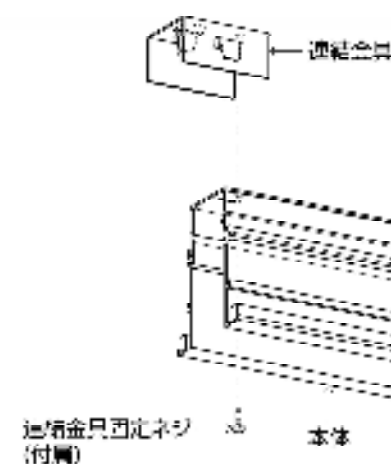


■取付手順

- ①エンドキャップを取外す。
エンドキャップ固定ネジをゆるめて取外す。
本体上面のシールをはがす。



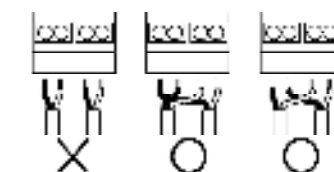
- ②連結金具を取付ける
連結金具固定ネジ(付属)で取付ける。



- ③電源を接続する
右図のように電源線の被覆をむき、端子台カバー(一の上から電源線を接続端子に確実に差し込む。また、送り配線は照明器具専用とする。(Xの容量は8A)はすす時は解除ボタンを押しながら電源線を抜く。



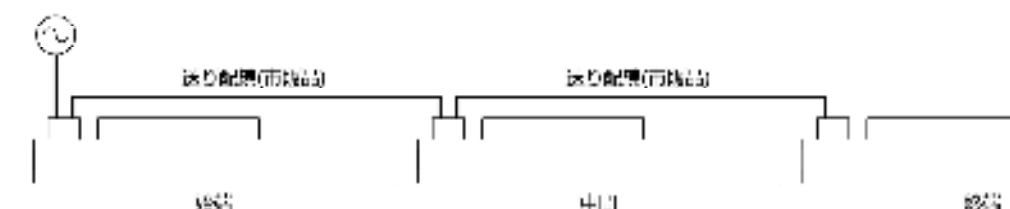
- ▲警告 電源の接続を確実に行ってください。
端子台カバーを外さずに電源線を接続してください。
接続が不完全な場合や電源線が器具に接触した場合、容量オーバーした場合は火災・感電の原因になります。



- ④送り配線する
接続端子に沖結用送り線(付属品)の一方を接続し、本体の上側を運わせて、もう一方を運行する。本体側の接続端子に送る。
(連結用送り線の推奨長さは右表を参照してください。)
※器具の取付けには方向性があります。接続端子と逆側に連結器具を設置し、接続端子の向きを合わせてください。

■推奨連結用送り線長

1000タイプ	1700mm±2
1200タイプ	1400mm±2
900タイプ	1100mm±2
600タイプ	800mm±2



⑤本体を取付ける

■施工手順(単体取付の場合)2・3を参考に取付ける。

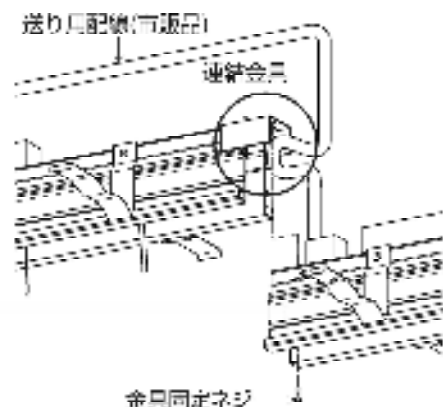
⑥連結する

①開孔の場合は②の手順で連結金具を先に取り付ける。

③④を参考に電源接続・送り配線し、埋め込んだ本体の連結金具に合わせて、⑤を参考に本体を取付け、金具回がネジで取付ける。

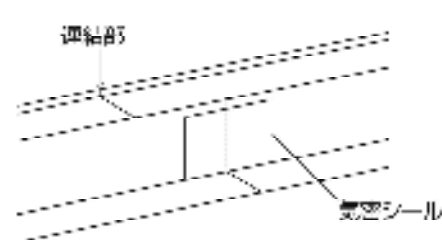
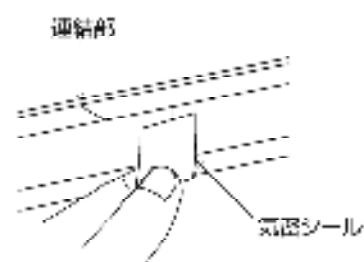
※連結後に本体がずれている場合は金具固定ネジをゆるめて微調整する。

※器具の連結時、送り配線を連結金具ではさみ込まないように注意してください。



⑦気密シールを貼る

連結部の内側に付属の気密シールを貼る。



⑧LEDユニットを仮吊りする

■施工手順(単体取付の場合)4を参考に取付ける。

⑨コネクタを接続する

■施工手順(単体取付の場合)5を参考に取付ける。

⑩LEDユニットを取付ける

■施工手順(単体取付の場合)6を参考に取付ける。

■LEDユニットについて

- 光束維持時間は40,000時間です。光束が70%以下になるか、不点灯になるまでの時間で、照明器具の保証寿命とは異なります。
- LEDのみの交換はできません。
- LEDは輝度が高いため、直視しないでください。
- LEDにはバラツキがあるため、同一型番でも発光色、明るさが異なる場合があります。ご了承ください。
- 電源ON時にスイッチが点灯する表示付スイッチに使うと、表示が暗くなったり点灯しないことがあります。

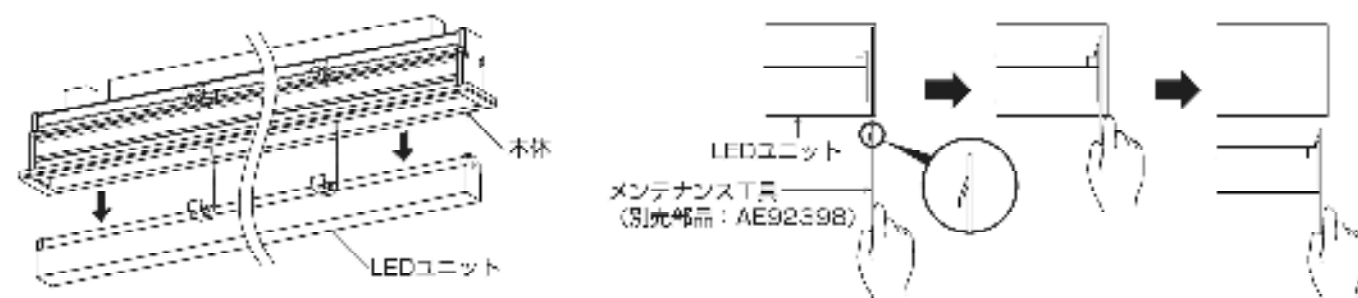
■LEDユニットの取外し方

△注意 LEDユニットの取外しの際は安全のため電源を切ってください。感電の原因になります。

1 電源を切る

2 LEDユニットを取外す

メンテナンス工具を使用し、LEDユニットを下に引っ張って取外し、仮吊りにする。



3 コネクタを取外す

ツマミを押しながら、LEDユニット側コネクタから、本体側コネクタを抜く。



4 LEDユニットを取付ける

■施工手順(単体取付の場合)6・6を参考にLEDユニットを取付ける。

■器具のお手入れ △注意 器具のお手入れの際は安全のため電源を切ってください。感電の原因になります。

- 明るく安全に使用していただくために6ヶ月に1回程度の清掃・点検をしてください。
- 器具の汚れは乾いた柔らかい布が濡れた中で洗剤を浸透させた柔らかい布をよく絞ってから拭き取ってください。シンナーやベンジンなどの揮発性のものを使ったり、殺虫剤をかけたりしないでください。また、濡れた中で洗剤を使用した場合は、洗剤が残らないよう、よく拭き取ってください。変質・故障の原因になります。

❗ 器具の取外しは工事店・電器店に依頼してください。→感電の原因になります。

■使用上のご注意

- 器具の近くでリモコン(コントローラ)を操作した場合、誤動作することがあります。器具とコントローラ受信部を離してご使用ください。
- 器具の近くや電波状況の弱い場所では音響製品に雑音が入る場合があります。器具と音響製品を離してご使用ください。
- 点灯および消灯後に器具構成材料の熱伸縮により若干のきしみ音が発生することがありますが、異常ではありません。
- 電源OFF時に表示が点灯するタイプのスイッチを使用する場合、壁スイッチの使用は4個までとしてください。壁スイッチを5個以上使用される場合は、表示が点灯するタイプ以外のスイッチを使用してください。
- ライトコントローラ(別売)を使用時の調光時、および器具取付場所により、器具からのうなりが聞こえる場合がありますが、故障ではありません。
- 必ず当社指定のライトコントローラ・調光器(別売)をご使用ください。チラツキ・誤作動の原因になります。